

ささ舟-SASABUNE-

患者様×地域×佐々総合病院をつなぐコミュニケーションマガジン

急性期、救急、そして2019年、
在宅診療はじまる。

在宅
救急
急性期



Contents

地域対談

西東京消防署長×院長

診療科特集 (放射線診断科)

在宅診療開始

職員の活動

KYTカルタ

地域のクリニック紹介

職員が通う名店

おくすり豆知識

佐々っとレシピ

Vol.28 佐々総合病院
2019.07.01

ご自由にお持ち帰りください

Feel free to take

Area Talk

地域対談



東京消防庁
西東京消防署長

山本 登



医療法人社団時正会
佐々総合病院 院長

鈴木隆文

救急車の出場件数は10年で16万件増加

消防や救急医療を通じて、西東京市民の安全・安心を守る西東京消防。病院とも関係が深いことから、今回は救急医療を中心にお話を聞かせていただきます。

鈴木:近年、救急車の出場件数が大きく増えてきていると伺いましたがいかがでしょうか？

山本:そうですね。平成30年の東京消防庁管内の出場件数は818,100件と過去最多となっています。平成20年は653,260件ですから、10年で約16万件も増えたこととなります。各消防署では隊を複数持っていて、その隊の中で365日24時間交替勤務をしています。各隊1日平均8.7件の救急要請がありますので、救急隊員は勤務中ほとんどの時間出場しており、署で待機する時間はほとんど

無いほどです。

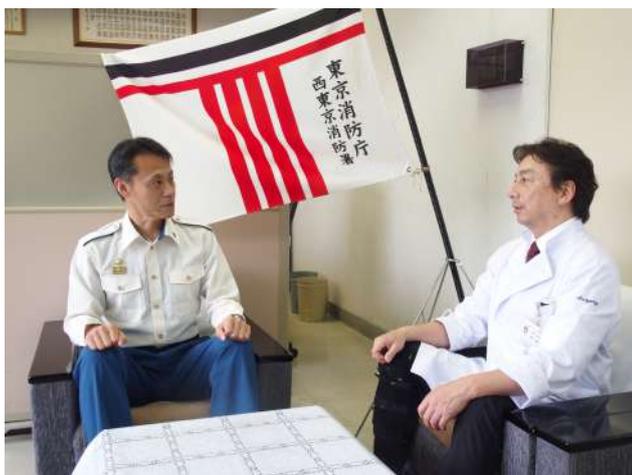
鈴木:ちょっと前に救急車の適正利用が問題になりましたが、その辺は解決されたのでしょうか？

山本:いえ、まだまだ解決されていません。消防では救急搬送されて、診療後に入院する方を「重症者」、入院せずに自宅に帰れる方を「軽症者」としているのですが、軽症者の割合は54.5%もいます。本来、救急車は「重症者」の搬送を目的に利用されるべきですから、まだまだ適正利用されていないのが現状です。そこで消防では「#7119」救急相談センターや東京版救急受診ガイドの利用を促進しています。「救急車を呼んだ方がいいのかな？」と迷ったときは「#7119」に電話をして相談していただきたいです。

鈴木:実際に救急車を呼んだ場合、我々のような医療従事者であれば、その場である程度の処置をすることはできると思いますが、一般の方がその場に居合わせた際に到着するまでに行っておいてほしいことはありますか？

山本:はい。救急現場に居合わせた人をバイスバインダーと言いますが、バイスバインダーの救護活動が非常に大切になってきます。実際、その勇気ある行動で命を救う場面は多くあります。心肺停止の方にはAEDや心肺蘇生法を用いる方法や、出血している方にはビニール袋やハンカチなどを用いた圧迫止血など、少しの知識があれば対応できることが多くあります。消防でもそういった応急手当を学べる救命講習(東京消防庁HP:<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/life/kyuu-adv/life01-1.htm>)を頻繁に行い、一人でも多くの命を救う取り組みをしています。

鈴木:確かに、救急車が到着するまでの数分の間に、応急処置をしているのとしていないのでは、大きな違いがありますよね。救急隊の皆さんは、いざ救急現場から病院まで搬送するまでに、患者の容態確認、処置、受入病院を探すなど、実に多くのことを短時間で行わなければいけないと思います。それには、専門的な知識や、普段の訓練が大切だと思いますが、隊員の教育はどのように行っているのですか。



山本:はい、まず救急隊員になるためには、救急標準課程研修試験に合格し、約2か月間の研修を経て、初めて救急車に乗務する事ができます。また、高度な知識技術を有する救急救命士になるためには、2,000時間以上又は5年間の経験が必要となり、救急救命士養成研修の試験に合格し、7か月間の研修を修了し、初めて国家試験を受けることができます。試験に合格し救急救命士として救急隊に乗務後も、定期的な病院実習や、佐々総合病院様とも一緒に行っている合同救急症例勉強会などを通じて、知識・技術を磨く取り組みを行っています。

鈴木:救急医療の専門家集団というわけですね。今、お話しがあった救急隊と年2回の合同救急症例勉強会は、我々医療機関に取っても救急隊の方と深く話しができる貴重な機会となっていますので、是非今後も続けていきたいと考えています。



最後になりますが、医療では、救急隊と病院の連携は必須だと思いますが、救急隊から我々病院に求めることはありますか。

山本:西東京市内には、市民病院がありません。ですので佐々総合病院様のような民間病院が実質公的病院のようなかたちで、救急医療を守っていただくことが必要になります。救急医療の現場は何が起こるか分かりません。現場に行くと初めて傷病者の状況が分かるのです。その時に救急隊が内科、外科、整形外科、脳神経外科など診療科を選定するのですが、何が起こるから分からないからこそどんな状況でも受け入れていただける救急病院というのは非常に頼りになります。ぜひ、そんな頼りになる病院であってほしいです。ものすごくハードルが高いかもしれませんね(笑)。

鈴木:なるほど。頼りになる病院ですね。救急隊の方々にそう言われると、さらに身が引き締まる思いです。当院も常に患者さんに最適な医療を提供できるように、最新機器の導入や設備投資などのハード面、人材確保などを通じたソフト面の充実など、計画的に実行しています。例えばソフト面でいうと、4月に放射線画像診断医が2名入職しています。3月までは画像診断は主治医がチェックしていましたが、4月以降は主治医に加えて画像診断医も同時にチェックをするので、より正確な診断が可能となりました。患者さんからすると変化に気づいていただけないかもしれませんが、診療をする医師の立場からすると診療の質が向上したことを実感しています。ただ、そういった部分も公的な病院のように補助が出るわけではないので、無駄を極力減らし効率的に病院運営ができるような努力も継続しながら、一歩ずつ理想に近づいていきたいと思っています。(以上)

東京消防庁は緊急時に役立つアプリを提供しています!



iOS版



アンドロイド版



Medical department special feature

診療科特集



放射線診断科を支える診療放射線技師

放射線診断科 設立

2019年4月、信澤宏医師、俵原真里医師の2名をお迎えし、新しい診療科”放射線診断科”を設立いたしました。

■信澤宏医師のコメント

放射線診断科というのは耳慣れない方が多いかと思いますが、医用画像（一般撮影、造影検査、CT、MRIなど）の診断を専門的に行う診療科です。医師国家試験合格後に日本医学放射線学会の指定した研修を受け、専門医試験に合格することで放射線診断専門医になります。患者さんに直接接することはありませんが、画像診断報告書を作成することで間接的に診療に参加しています。診断報告書作成以外にも、依頼医とのカンファレンス、検査プロトコルの最適化、放射線被ばく低減などに関わります。



信澤 宏 Hiroshi Nobusawa

■略歴

昭和60年 昭和大学医学部卒業/昭和大学大学院進学
(内科系放射線医学専攻)

平成2年 太田熱海病院出張

平成3年 昭和大学医学部放射線医学講座助手

平成9年 伊勢崎左波医師会病院出張

平成12年 昭和大学医学部放射線医学講座助手

平成14年 昭和大学医学部放射線医学講座講師

平成18年 石心会川崎幸病院放射線科診断科

平成31年 佐々総合病院入職

■略歴

日本医学放射線学会放射線診断専門医

検診マンモグラフィ読影認定医

第一種放射線取扱主任免状

厚生労働省認定臨床研修指導医

日本医学放射線学会研修指導者

医学博士



俵原 真里 Mari Tawara

■略歴

平成3年 金沢大学医学部附属病院放射線科医員

平成4年 石川県立中央病院放射線科

平成5年 富山県立中央病院放射線科

平成6年 金沢大学医学部附属病院放射線科医員

平成8年 富山赤十字病院放射線科

平成10年 金沢大学医学部附属病院放射線科医員

平成14年 富山赤十字病院放射線科 副部長

平成16年 国立病院機構金沢医療センター放射線科 部長

平成29年 社会保険直方病院放射線科 部長

平成31年 佐々総合病院入職

■略歴

日本医学放射線学会研修指導者認定

日本医学放射線学会 放射線診断専門医

検診マンモグラフィ読影認定医

日本乳癌学会認定医

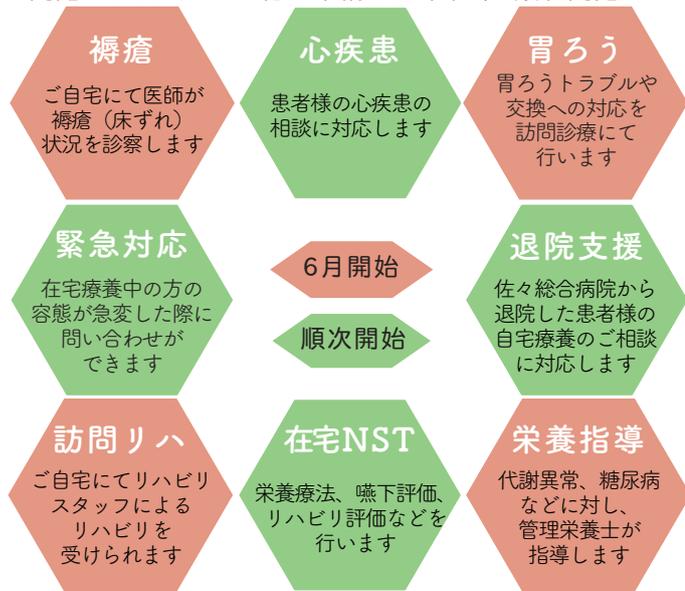
医学博士

Home Medical Care

在宅診療開始

2019年6月より佐々総合病院は在宅診療を開始しました。在宅医療は、医師をはじめ、訪問看護師、管理栄養士、リハビリテーションスタッフ、医療ソーシャルワーカーなど多くの職種が連携して定期的に患者さんのご自宅などを訪問し、チームとなって患者さんの治療やケアを行っていく医療活動です。

佐々総合病院は在宅診療として以下の取り組みを行って参ります。以下のうち、褥瘡・胃ろう・訪問リハ・栄養指導が6月から開始となります。その他は準備が出来次第、順次開始となります。



住み慣れた自宅での療養を希望する方や、何らかの病気をもちで、通院に困難性を感じている方などに対し、定期的に計画的にお宅に訪問し、診療を行います。当院としても初めての取り組みとなり、新しい診療チームを立ち上げていくこととなります。職員同士の連携を強化し、より良いチームを作ることで、地域における在宅医療の発展に貢献したいと考えております。

佐々総合病院 副院長
在宅訪問診療委員会委員長 中西陽一医師

Activity Introduction

職員の活動紹介

第57回戸田中央医科グループ学会での演題発表

5月19日(日)に第57回戸田中央医科グループ学会が開催されました。本年度の学会は全体で約60の採用演題があり、当院からは5題を出題しました。さらに投票で最優秀演題を決める事になっており、当院から10部門のうち2部門で最優秀演題賞として表彰を受けることができました。



「移行前後で病院機能を維持しえた円滑な電子カルテの導入事例」最優秀賞

ほとんどの病院で電子カルテ導入時には、不慣れなことからくる様々な問題が生じることから、外来もしくは入院患者数を制限して対応することが多いですが、当院では、外来患者数を減らさずに、滞りなく導入することが可能となった実績について、麻酔科 上田医師が発表しました。

「多施設間におけるCT装置の比較検討」最優秀賞

戸田中央医科グループの5施設のCT被ばく線量を調査し、撮影線量が施設ごとにばらつきがあることが分かったのを機に、CT装置の性能を把握することで、画質を担保しつつ被ばく線量を下げられる可能性があるとして仮説を立て調査した結果を、田中放射線技師が発表しました。



外科 中山医師、野田看護師、金井管理栄養士の3名も演題を発表しました。

中西医師、東京大学伊藤国際学術研究センターで登壇



中西陽一医師がシンポジウムでの発表と身体測定による栄養評価を担当致しました。

4月6日(土)に東京大学伊藤国際学術研究センターで行われた「栄養を幸せの力に-元気に食べ続けるために 見直そう胃ろうの正しい力-」にて、副院長の中西陽一医師が

福田医師(写真:左)、ラグビーワールドカップ味の素スタジアム 医務室を担当



2019年9月20日から11月2日まで、ラグビーワールドカップ2019日本大会が開催されます。このワールドカップの味の素スタジアムの医務室 医師を脳神経外科の福田直医師が勤めることとなりました。

4年に1度の祭典を皆さまも是非一緒に応援しましょう!!

KYT Karuta

KYTかるた



Kiken Yochi Training



形成外科 部長
堀口雅敏

日常に潜むケガのきっかけを未然に見つけるトレーニング、危険 (Kiken) 予知 (Yochi) 訓練 (Training)、略してKYT。

ささ舟では、いろはカルタ形式でケガしやすい場面を紹介していきます。どうぞ皆さんも一度身の回りでKYTしてみてください。



駅から出ると、もういつものバスが停留所に来てる!慌てて駆け乗ろうとしてバスの段差に前すねを強打…。「弁慶の泣き所」と言われる前すねは、ひどい内出血を起こして重症化しやすい部所です。病院に長期通院するくらいならバス1本見送る方が良いでしょう。

バスに慌てて駆け乗る



特に足元が見えづらく、両手もふさがれる布団などを抱えて階段を上り下りする時には十分注意してください。登りの時は前の「は」のように階段の角で前すねの大ケガをしやすく、下りの時は何段も階段を転げ落ちて頭の大ケガや足の骨折につながる場面もあります。

荷物を持って階段

Local Clinic Introduction

地域のクリニック紹介 -湯川ウィメンズクリニック-



↑診察台に乗ったままベッドに運ぶためのレール



今回は、田無駅から徒歩2分の所にある「湯川ウィメンズクリニック」をご紹介します。

診療科目は産婦人科で、月経不順や、生理痛、子宮筋腫や卵巣腫瘍などの診療や、妊婦健診、子宮がん検診、不妊治療なども行っています。

印象的なのは院長の人柄の良さ。”婦人科”という初回はなかなか来院しにくいものですが「お母さんと話しているような安心感でリラックスして話ができる!」「話しを丁寧に聞いてくれる!」と、佐々総合病院内にも長年お世話になっている職員がいるほど。

そんな院長の患者さんを思う気持ちが表れているものの一つが天井に設置されている介護用レールです。自力で動くことの出来ない患者さんが、治療を終えた後診察台に乗ったままベッドに移動できるよう設置しているそうです。

- ◆院長:湯川 澄江 ◆診療科:産婦人科、内科
- ◆診療時間:平日9:00~12:00/14:00~17:30 土曜日9:00~12:00
- ◆休診日:土曜日午後・火曜日・日曜日・祝日
- ◆住所・連絡先 ☎188-0011東京都西東京市田無町4-26-9 JSビル2F
042-469-5800
- ◆ホームページ <http://www.yukawa-clinic.com/pc/pcindex.htm>

Local Restaurant

職員が通う名店



365日24時間、交代で働く当院の職員が、勤務の前後や休憩時に足しげく通う地域の名店を紹介します！今回は当院の経理課職員がおすすめする「酒膳よさく」を紹介します。

複数の職員が「美味しい！」と推薦する唐揚げ定食は甘い味付けなのでご飯がしっかり進む味。優しい店長さんの笑顔に見送られ、職員は今日も仕事に励みます。

【推薦者独断！おすすめメニュー】

鶏唐揚げ定食(茶わん蒸し、小鉢、ご飯、香のもの、味噌汁) 950円

ささ舟をお店に持参するとランチタイム(11:00-14:00)限定で、お1人様1杯までコーヒーまたはソフトドリンクをサービスして頂きます！※1回限り有効です。ささ舟1冊につきお1人様までが対象となります。

来店
チェック欄
有効期限:
2019年9月30日まで

店名：酒膳よさく 田無店
住所：〒188-0011 東京都西東京市田無町4-27-8
営業時間：月～土、祝前日：11:30～14:00/16:00～23:30
日、祝日：16:00～23:30
定休日：なし お問い合わせ：042-462-5377

Medicine of Knowledge

おくすり豆知識 -薬を飲むとき水以外で飲むとどうなるの?-

薬を服用する際、皆さんは何で服用していますか？

お茶やジュース、牛乳などの飲料には、ビタミンやミネラル、カフェインなど様々な成分が含まれているため、薬の成分と相互作用を起こし、効き目が変化してしまうことがあります。

例えば、一部の薬品では、牛乳の中のカルシウムが薬の成分と結びついて吸収が弱まったり、グレープフルーツジュースでは薬の代謝が阻害され、効果が強く現れたりします。また、薬はコップ一杯の水やぬるま湯で飲むことを前提に試験され、開発されていますので、薬を服用する際には、水やぬるま湯を利用することをおすすめします。



Medical Recipe

佐々っとレシピ -もずくとオクラの酸辣湯風スープ-



じめじめとした暑い夏には「やる気がでない」「食欲がなくなる」「疲れがとれない」など様々な不調が起こりがちです。そこで夏バテしていても食欲のわく、酸味とほどよい辛味の効いた“もずくとオクラの酸辣湯風スープ”をご紹介します。さっぱりとした酢の酸味は味覚や嗅覚を刺激し唾液や胃液の分泌を促し食欲増進のお手伝いをしてくれます。さらに夏野菜で季節を感じながら食べることもできます。酸辣湯スープを食べて元気に夏を乗り切りましょう。

<作り方>

① 鍋に<スープ>の材料と一口大に切ったトマト、もずくを汁ごと入れて中火にかける。

② 煮立ったところへ輪切りにしたオクラを入れ、一旦火を止める。

【point!】オクラは長い時間火を通して色が悪くなってしまう為、注意が必要です。

③ 水溶き片栗粉を回し入れトロミをつける。

④ とき卵を流し入れて再度火をつける。塩コショウで味を調える。

⑤ 火を止めて酢を加え、器に注いでラー油をかける。

<栄養成分>

エネルギー：153kcal 塩分：1.0g(1人分)

<材料 2人分>

もずく酢(三杯酢or黒酢) 1パック
トマト 1個
オクラ 3本
卵 2個
水溶き片栗粉
片栗粉 小さじ1
水 大さじ1
塩コショウ 少々
酢 大さじ1
ラー油 少々

<スープ>

酒 大さじ2
砂糖 小さじ2
しょうゆ 小さじ2
鶏ガラスープの素 小さじ1
ショウガ汁 小さじ2
水 400ml

医療公開講座スケジュール

佐々総合病院は、地域のみなさまを対象に医師や医療技術者の立場から医療についてわかりやすく解説する「医療公開講座」を予約不要・無料で開催しています。みなさまお誘い合わせの上、ご来場いただけますようお願い申し上げます。会場は佐々総合病院3号館4階ホールとなります。講師の都合により日時、会場を変更させていただく場合がございます。最新情報は、ホームページに掲載しますのでご確認ください。

脳神経外科 部長 医療相談室
福田 直 医師 社会福祉士 大町 幸子

8/5(月) 16:00-17:00

脳卒中のお話③
-リハビリから社会復帰へ-

7/1(月) 15:30-16:30

脳卒中が起こったら?!
-治療のお話-

脳神経外科 部長
福田 直 医師

副院長
在宅訪問診療委員会 委員長
中西 陽一 医師

9/5(木) 10:00-11:00

佐々×在宅診療①
在宅診療の話

8/9(金) 10:00-11:00

元気で長生きする秘訣

内科系部長
脳神経内科 部長
南里 和紀 医師

9/11(水) 10:00-11:00

西東京消防コラボ企画
救急の日-佐々の救急×西東京救急隊-

副院長 救急科 部長
古川 達也 医師

栄養科 管理栄養士
入澤 純一

栄養の話
-腹八分目が良くて本当?!-

9/26(木) 16:00-17:00

8/30(金) 16:00-17:00

第100回記念講座
早期発見と痛みの少ない治療

-いま佐々でできること、そして未来へ-
院長
鈴木 隆文 医師

大腸がんで
手遅れにならないために

9/18(水) 10:00-11:00

外科
中山 真緒 医師

9/28(土) 14:00-15:00

痛みシリーズ②

膝の痛み予防のお話

リハビリテーション科
理学療法士 粕谷 岳志・若澤 翔太

在宅診療の問い合わせ

患者様向け連絡先

在宅診療をご希望の方は佐々総合病院 医療福祉課

042-461-1535 までご連絡ください。

(受付時間:平日9:00～17:00 /土曜9:00～12:00)

医療関係者様向け連絡先

在宅診療についてのお問い合わせは佐々総合病院 地域

医療連携課 042-461-5277 までご連絡ください。

(受付時間:平日9:00～17:00 /土曜9:00～12:00)

医療法人社団 時正会
佐々総合病院

住所 〒188-0011 東京都西東京市田無町4-24-15

電話番号 042-461-1535 (代表)
042-461-3333 (産婦人科)
042-461-8383 (健診センター)

ホームページ情報

<http://www.sassa-hospital.com/>
右のQRコードを読み込んで頂くと
サイトにアクセスできます。



健診センターへのお問い合わせ

結果説明:月・水・木・金 13:30～15:00 結果説明は、検査を受けてから2週間後以降にいらしてください。